

筑豊小児科医会会報

Vol.236 2026.9



Contents

- ✧ トピックス
- ✧ 研修医のご紹介
- ✧ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2026年6月》
- ✧ AI-CAP 通信
- ✧ 小児科関連勉強会のご案内
- ✧ Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

トピックス

眼科 部長 中間 崇仁

眼科は医師 5 名、視能訓練士(眼科検査専門)4 名、外来看護師 3 名を中心に診療を行っています。当院では入院可能な総合病院の眼科として、未熟児から高齢の方までほとんどの眼疾患に対応できる体制を整えています。

未熟児に関しては、毎週木曜日に未熟児網膜症のスクリーニングを NICU にて行っています。全身管理をしっかりといただいているため、ここ数年は眼科治療に至る症例は幸い経験していませんが、子どもたちの大事な目を守るために、小児科と連携して必要な場合には網膜光凝固術や抗 VEGF 硝子体内注射などの治療まで行います。

小児では、睫毛内反症(所謂逆まつげ)、先天鼻涙管閉塞症や各種健診で指摘された弱視疑い、斜視疑いの診療をする機会が当院では多いように思います。近年、斜視や屈折異常をある程度簡単にスクリーニング出来る器械(スポットビジョンスクリーナーなど)が広まったことで、適切な時期に小児科の先生方からご紹介いただく機会が増えています。屈折異常や斜視は、程度によっては早期に治療を行わないと弱視となり恒久的な視力障害に繋がることがありますので、疑われる場合は積極的にご紹介いただければ幸いです。睫毛内反症に対する全身麻酔下手術、先天鼻涙管閉塞症に対するプジー処置も当院では行っています。最近では選定療養もしくは自費診療にはなりますが、近視進行抑制治療が数種類出てきております。当院では今のところ対応しておりませんが、強度近視は治療不能な視力低下の原因となることもあるため、情報提供出来るように努めて参ります。

今後も小児科の先生方と連携しながら適切な小児眼科医療を提供して参りますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

★眼科 集合写真★



研修医のご紹介

●初期研修医 1 年目 かんだ ことみ 神田 琴美

初期研修医 1 年目の神田琴美と申します。今春に久留米大学を卒業し、4 月より勤務しております。小児科医を目指して医学の道に進みましたので、小児科での研修を心から楽しみにしておりました。本研修では、子ども達やご家族に寄り添いながら、まごころを込めた医療を提供できるよう精一杯努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

●初期研修医 1 年目 ふじい ゆうせい 藤井 邑成

研修医 1 年目の藤井邑成と申します。飯塚市出身で鹿児島大学を卒業しました。子どもたちとご家族に寄り添いながら、たくさんのことを学び吸収できるよう精一杯研修に励む所存です。将来も筑豊地域で働きたいと考えていますので、未永くご指導のほどよろしくお願いします。

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2026 年 6 月》

●入院患者数 117人 ●外来患者数 941人 ●救命救急センター受診者数 64人

●新生児センター入院患者数 14人 ●分娩件数 21件 ●手術件数 9件

●主要疾患数（退院患者数：99 人）

肺炎・気管支炎	18	痙攣及びてんかん	14	急性上気道感染症	8
急性胃腸炎	7	新生児呼吸障害・心血管障害	2	腸重積・腸閉塞	1
高ビリルビン血症及び黄疸	1	低出生体重児	1	その他	47

●紹介件数（五十音順）

小児科：123 件	
ひこばえ子どもクリニック	14
宮嶋医院	8
飯塚医師会検診検査センター	7
やまのファミリークリニック	
あらきこどもファミリークリニック	6
こどもクリニックもりた	5
いいづかこども診療所	4
加来医院	
坂本医院	
ささきこどもクリニック	
千手医院	

小児外科：16 件	
飯塚市役所 こども家庭課	3
あらきこどもファミリークリニック	2
こどもクリニックもりた	
松尾ファミリークリニック	
くわの内科・小児科医院	1
田中医院（弓削田）	
西園内科クリニック	
ひこばえ子どもクリニック	
久山療育園	
ひじい小児科クリニック	
弓削クリニック	

8月に、「子どもを地域で支える会・筑豊」という勉強会で、飯塚少年サポートセンターの社会福祉士・公認心理師である東 智夏子先生から「薬物乱用というSOS～少年たちの生きづらさとその背景にある孤立～」と題した講演を聴きました。

講演では、薬物乱用に至る子どもたちの背景について詳しく教えていただきましたが、なかでも印象的だったのは、小児期に虐待を受けている子どもが非常に多いという事実でした。幼い頃から虐待を受け、家庭にも学校にも居場所を失い、気づけば非行や犯罪に巻き込まれてしまう。そうした子どもたちが、押し寄せる苦しさから逃れる唯一の手段として、薬物に手を伸ばしてしまう——そんなケースが後を絶たないとのことでした。

薬物乱用は快楽を求める行為ではなく、溢れ出す苦痛を少しでも薄めるための切実な手段です。オーバードーズもリストカットも薬物も、表面に現れる形は違えど、根っこにあるのは同じ苦しさであり、その背景には幼い頃からの虐待体験と孤立があります。つまり、薬物だけを取り締まっても本質的な解決にはなりません。本当に必要なのは、安心して頼れる大人の存在です。裏切られることなく、いつまでも続く安定した関係性。それを親以外の誰かが担うことができるか——医療者として、私たちにできることは何か、改めて考えさせられる講演でした。

文責：AI-CAP 大矢 崇志

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL：0948-88-8220（直通）FAX：0948-88-2806

小児科関連勉強会のご案内

■ 飯塚医師会学術講演会 第376回筑豊小児科医会勉強会

● 日 時：2026年9月16日（木）19:00～20:00

● 会 場：飯塚医師会館【Zoomによるハイブリッド開催】

インフルエンザの cutting edge topics

自治医科大学附属さいたま医療センター

小児科 教授 田村 大輔先生

* 詳細は案内状をご確認ください

■ Atopic Dermatitis Web Seminar in 筑豊（377回筑豊小児科医会勉強会）

● 日 時：2026年10月22日（木）19:00～20:10

● 会 場：のがみプレジデントホテル【Zoomによるハイブリッド開催】

Pediatrics note（小児科 診療部長 大矢崇志）

みなさん、"ちいかわ"をご存知ですか？あの小さくて可愛いやつです。子どもから大人まで大人気のキャラクターで、小児センターにもあちこちに"ちいかわ"たちが棲んでいます。そんな"ちいかわ"の映画が7月に公開され、現在も大ヒット公開中です。僕も先月のはじめに観てきました。これまで、キャラクターとしては知っていたものの、ストーリーがあるとはつゆ知らず、映画を観て度肝を抜かれたのでご紹介します。

ある日、ちいかわとハチワレが広場でくつろいでいると、顔にチラシを貼り付けたうさぎがやって来ます。チラシは「特別な島へご招待」と書かれた招待状でした。「島でのカンタンな討伐で 100 倍の報酬をもらおう」などの言葉に釣られ（討伐に報酬！？）、島に行くことを決めたちいかわたち。しかし、その島で待ち受けていたのは、想像を超える物語でした。討伐対象は村人を襲っては食べてしまうセイレーンと仲間の人魚たち。しかし、セイレーンが村人を襲うのには訳がありました。仲間の人魚の一人を何者かに殺されたからだったのです。誰が人魚を殺したのか、それは何故なのか。悲しみの連鎖が不幸を招く、傑作の「島ホラー」。映画館で子どもたちが観るものとは？

実は、日本では年齢制限なしの G 指定で公開されていますが、台湾では 6 歳未満は鑑賞不可、6 歳以上 12 歳未満は保護者や成人の同伴が必要とされています。画風ではなく物語の展開が判断の根拠となったようです。かわいらしいキャラクターたちがホラー要素の強い物語を紡ぐ。しっかりした制作意図をもって作られたのは間違いありません。本作を褒め称える意見がある一方、「こんな怖い話を子どもに見せていいのか」という声が上がってしまいます。

どちらの意見も理解できますが、僕は怖い思いをするのも貴重な体験だと思っています。映画の中で大人からすれば、理不尽な出来事や、誰が悪いとも言い切れない悲しみを子どもたちがどう捉えるか。年齢によっては、ちいかわが動くだけで喜んで終わる子いるでしょうし、大人に近い感想を持つ子もいるでしょう。ただ、これを観た後、子どもたちには気持ちをうまく処理する必要があると思います。一緒に観た人に気持ちを聴いてもらって話をして、安心したり、共感したり。親は子どもがどんな感想を持つのか知ること、成長を感じることもできるでしょう。『映画ちいかわ 人魚の島のひみつ』。良い休日の一本ですよ。

お知らせ

Pediatrics Note は note にも載せています

